

エルサレムを目前に① 主に従うことの祝福

ルカ18章18-30節

2013,12,1 HKJCF

概観

序)エルサレム直前の教え一祈りの教えから人々との出会いを通しての教えへ

- 1、唯一つ欠けたもの
- 2、神に不可能はない
- 3、捨てることは得ること
- 4、適用と祈り

I 唯一つ欠けたもの

- 1、尊い(善い)先生
- 2、神の国に入る確信の無さ
- 3、永遠のいのちを受ける業
- 4、自己の不完全さへの認識
- 5、善い、正しい人から信仰の人へ
⇒青年の靈的覚醒のために

II 神様に不可能はない

- 1、全財産を与えることの意味
- ①業による救いの否定
 - ②順序が逆
 - ③主の意図(手放して、主に従う)
- 2、ラクダと針の穴の譬えの解釈
人間の業による救いの否定
 - 3、業の限界と主に信従する生き方
⇒神様に不可能はない
(人間の不可能は神様の可能)

III 捨てることは得ること

- 1、ペテロの捨てたもの
 - 2、神様の祝福
 - 3、主の言
- ①後の者が先に(マルコ10:31)
 - ②捨てたものが犠牲→誇り→自己義認
(自分のところに記帳:ルカ18:12)
⇒信仰とは献身の連続であり、犠牲と実績ではない 自分を明け渡し主に従う
Ⅱコリ4:7 「富める青年」パウロが、

IV 適用と祈り

- 1、主の愛のまなざし
マルコ10:21 彼を見つめ、いつくしんで
マルコ10:23 見回して、弟子たちに
マルコ10:27 彼らをじっと見て
- 2、主の願い
マルコ10:31 後の者が先になる
「主よ、唯、十字架の愛で救われたことを感謝します 自分を明け渡し、信頼して信従の歩みを続けられますように」